

## 第1回商工センター地区活性化検討会MICE部会 議事要旨

- 1 開催日時 令和元年10月1日(火) 午前9時30分～午前11時30分
- 2 開催場所 広島サンプラザ2階 太陽の間
- 3 出席者 構成員(委員)10人中10人出席(代理含む)、アドバイザー2人中2人出席、オブザーバー3人中3人出席
- 4 議題
  - (1) 商工センター地区活性化検討会MICE部会開催要綱について
  - (2) 座長の選出について
  - (3) これまでのMICE施設整備の検討状況(非公開)
  - (4) 地区のあり方(非公開)
- 5 議事経過
  - (1) 商工センター地区活性化検討会MICE部会開催要綱について  
事務局が開催要綱及び構成メンバーの役割について説明した。
  - (2) 座長の選出  
伊藤委員が座長に選ばれた。
  - (3) これまでのMICE施設整備の検討状況(非公開)  
これまでのMICE施設整備の検討状況(他都市での整備事例の紹介を含む)について、事務局から報告を行い、主に以下のような意見が述べられた。
    - ・ 商工センター地区は、現状の宿泊などのキャパシティーには問題があるが、発展する可能性があると思う。
    - ・ 商工センター地区は、JR等がありアクセスは悪くない。ただ、輸送力等の問題があるので、バスによる補助を考えなければならないかもしれない。
    - ・ まちづくりの検討のエリアとしては当然、中央市場も含めて考えていいと思っている。MICE施設と中央市場が、屋根でつながっているか否かではなくて、魅力を作ればつながると思う。
    - ・ 商工センター地区のまちづくりを検討するとき重要なことは、MICE施設だけではなく、商業施設等も含めて、この地区に本当に必要な施設は何かということをしっかり議論することではないか。
  - (4) 地区のあり方(非公開)  
地区のあり方について、意見交換を行い、主に次のような意見が述べられた。

- ・ 現在、広島サンプラザでイベントがあった場合、JR新井口駅では、ペDESTリアンデッキにずっと人が並んでいて通れないこともある。さらにMICE施設ができる、人をどのようにしてはかしていくかが大切になる。
- ・ まちづくりの対象をどの範囲にするか。そして、そのまちの中で回遊性を持たせることが重要と思う。商工センター地区は、「埋め立てから、建物を立てるまで」の第一次の計画は終わった。さらに発展するには再開発が必要と思う。
- ・ 商工センター地区で、MICE施設の検討する際に、M（企業の会議等）、I（インセンティブツアー）、C（大規模な会議）、E（見本市やイベント等）の4つの分野のどれを対象とするのかで、人の流れという点で、全然性格が違う。
- ・ 新井口駅と海側の核となる施設を整備し、それを結ぶ中間にMICEの拠点があるような、商工センター全体の構造の見直し、まちづくりの見直しがあってもいいのではないかと思う。
- ・ 道路整備も含めて検討を進めてほしい。
- ・ MICE施設整備、駅（JR新井口駅・広電商工センター入口駅）やアルパークの再開発ができれば、誰のための活性化かということはあるが、広島市は活性化すると思う。商工センターの活性化にも繋がると思う。
- ・ MICE施設は、日本全国・世界から誘客できる施設とすべきであると考えており、中途半端な施設になるのなら、むしろやらないほうがいい。
- ・ 現状の都市機能を変えるような大プロジェクトでまちづくりをするのかどうか、大きな岐路に立っており、しっかり勉強して検討しなければいけない。